

「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の結果について

本活動の結果につきまして、以下のとおりご報告します。

《報告事項》

活動報告書の結果について

平成17年8月1日からの活動開始以来、本活動も12年目を迎え、今年も例年どおり7月1日から8月末日までの2ヶ月間を「特別強化月間」として、巡回活動を推進してまいりました。

期間終了後、組合員からの報告書が多数提出されましたので、その中からいくつかの事項についてご報告させていただきます。

車内放置の発見例としては、平成18年、平成19年と、2年連続での発見例があったほか、平成23年においても発見例があり、平成17年の活動開始以来、組合員7社により10名の幼児の発見例がありましたが、幸いにも今年は、発見の報告はありませんでした。

【活動状況や気づいたこと】

＜巡回時の留意点等について＞

- ミニバン(家庭用ファミリーカー)または、チャイルドシートを設置している車両を重点に確認した。
- 窓が少し開いている車両、スモークガラス・着色フィルム装着車両に特に注意して巡回した。また、時間がある時、ホール様の近くにある他の駐車場も巡回した。
- 昼夜を問わず、エンジンがかかっている車両を確認した。
- 天候、時間を問わず、平面駐車場の場合は必ず一周してから駐車し、立体駐車場の場合は、一番上の階まで行ってから駐車した。
- ペンライトを使い、車内の見えにくい箇所も徹底して見るようにした。
- 立体駐車場では、節電のためライトが付いていない店舗もあり、見づらかった。また、平面駐車場は直射日光が当たるので、特に注意して巡回した。

＜巡回中に目立った点等について＞

- フロントガラスにサンシェードを着けた車両や、後部座席の横や後にスモークガラスを着けた車両が多く、点検しづらかった。
- エアコンを着けた状態で休憩する人が多かった。
- 車内で寝ている人が多かった。
- 車内に貴重品らしき物や、車上荒らしが取りそうな物が見えるところにあるのが気になった。
- 窓を少し開けている車両が多く、車上荒らしの危険も感じられた。
- 車内にペットがいる車両を見かけた。

＜巡回活動ツールについて＞

- ビブス(メッシュ地のベスト)を着用していたため、巡回中に来店客にあやまれることがなかった。

＜その他＞

- 暑いせいかわ窓を開けている車両もあり、車上荒らしの可能性があるので、ホール様に連絡した。
- ドアをロックしていない車両を確認したため、ホール様の責任者に連絡して対応をお願いした。
- 放置されていると思われる車両やライトの消し忘れ、貴重品と思われる物の車内の放置などを発見し、店舗責任者に報告した。
- 他県ナンバーの車両の中に運転者が数時間車残っていたり、不審な車両が駐車されているのを発見した場合には、ゴト事案に繋がるかもしれないので、警備の方に注意喚起を促した。
- 北海道の冬は寒さが厳しく、雪も降るため、暖房による事故も多い。夏場のみではなく、1年間を通して巡回する必要があると感じた。
- ホールのお客様に「御苦労様」と声をかけられ、作業にも力が入った。